



オリジナル科目

西宮・ヒト・ココロ・未来をデザインする「DX社会の現状を知る」 Lifestyle Design of Nishinomiya Citizens I

科目提供大学名	大手前大学
担当教員	山下 真知子（大手前大学 客員教授）他 11 名
単位数	2 単位
最大授業定員	40 名
開講学期	前期 4 時限（17：50～19：20） 金曜日（4月12日～7月19日、5月3日の休日は授業を実施）
成績評価	毎回の授業後コメントの提出：30% ワークシート課題：30% 最終課題 レポートあるいはプレゼンスライド：40%
テキスト	特になし
参考文献	特にないが、担当教員の推薦資料に沿う
授業以外の学習方法	特にないが通常時から自身の生活周りを意識しておくこと
その他の特記事項	※1. さまざまな研究者や専門家のオムニバス講義形式のため、必ず毎回出席し、ワークシート課題を提出することが望ましい。 ※2. 本授業は(1)基礎編「DX社会の現状を知る」、(2)実践編「アイデアをカタチにする」の2つの編からなるため、(1)基礎編、(2)実践編(計2科目：4単位)を受講することが望ましい。
講義概要	皆さんは「DX化社会」という言葉を耳にしたことがあるだろうか。社会はコロナ禍で停滞していたかのように見えるが、その実、皆さんの暮らしの中にはデジタル技術で社会や生活の形を変えるDX化が浸透し生活スタイルが大きく変化しつつある。そのような中であって、今私たちに求められていることやどう生きることが望ましいのかについて各領域の専門家たちと共に考える機会を持ちたい。
到達目標	本授業は現在の社会現状と課題を知ることで私たち一人ひとりがDX化社会とどのように共存し快適な生活の質を獲得する地域民としてあるのが望ましいのかを考え、自分なりの方法や手段を見つけることを目的とする。
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス・アイスブレイク (山下 真知子) 2. 「DX社会」ってなに？(ワークショップ：協働活動) (山下・株式会社フォーシーカンパニー取締役 中塚 貴志) 3. 「身の回りのDX」発見(ワークショップ：協働活動) (山下・株式会社フォーシーカンパニー取締役 中塚 貴志) 4. まとめプレゼンテーション (山下・株式会社フォーシーカンパニー取締役 中塚 貴志) 5. DX社会へのさまざまなアプローチと現状 ～DXの実現を牽引するAI活用人材～ (関西学院大学工学部教授 巳波 弘佳) 6. DX社会における経済・産業の在り方・現状 ～データ活用と地域の子カラ～ (大手前大学経営学部准教授 坂倉 孝雄)

7. DX社会における経済・産業の在り方・現状
～人工知能はどこまで賢くなるのか～
(神戸女学院大学人間科学部教授 三浦 欽也)
8. 西宮市のまちづくりとDX ～現状と課題、今後の方向性～
(西宮市政策局都市計画部 部長 山本 和男・都市計画課 課長 川村 雄一郎)
9. DX社会における公共建築
～デジタル社会が生み出す新しい建築デザイン～
(関西学院大学建築学部教授 原 哲也)
10. DX社会における公共建築
～ユニバーサル視点・バリアフリー化に向けた展望と課題～
(大手前短期大学教授 藤本 幹也)
11. ユニバーサル視点からの住民のコミュニティデザイン・現状
～住民がつくる福祉のまちづくり～
(関西学院大学人間福祉学部教授 藤井 博志)
12. ユニバーサル視点からの住民のコミュニティデザイン・現状
～地域づくり・コミュニティビジネスから考える～
(関西学院大学人間福祉学部准教授 柴田 学)
13. 西宮市の市政コンセプトを知る (西宮市長 石井 登志郎)
14. DX社会におけるシチズンシップ
～世界を読むリテラシーとしてのグローバル・シチズンシップ教育～
(関西学院大学教育学部准教授 岩坂 二規)
15. 後期「実践編」への導入・まとめ・リフレクション (山下 真知子)

「西宮・ヒト・ココロ・未来をデザインする「DX社会の現状を知る」」

【更新履歴】

1.第8回担当者詳細決定

「西宮・ヒト・ココロ・未来をデザインする」 (前期)「DX 社会の現状を知る」(後期)「アイデアをカタチにする」

オリジナル科目



【代表】山下 真知子 (客員教授)

博士の専門分野は環境色彩心理およびデザインですが、修士では教育工学という「わかる授業の組み立て方」や「感性教育」を研究していました。学生が面白いと思える授業とは消費者が魅力的に思い、手に取るヒット商品のようなものだと考えています。今回、現在今後とも避けることができない「DX」というキーワードから多岐にわたる領域の先生方に参加を呼びかけ魅力的な授業を目指しました。今、大学教育として一番に学ぶべき内容であることから、皆さんにとって有意義な授業体験になることを切に願っています。

DX進展社会によって変化する私たちの暮らしを知るために、さまざまな領域からアプローチします。知らなかったことを共有しながら知っていくためにワークショップ形式も取り入れています。積極的に楽しんで参加し学生自身が今後どう生きていくのか考える機会を作ります。

【前期 担当講師】*講義順



中塚 貴志 (株式会社フォーシーカンパニー取締役)
そもそもDXって?自分なりの答えをもつ
思考法を身につけよう!



巳波 弘佳 (関西学院大学 工学部 教授)
DXを進めるために技術を活用するスキル
を身につけましょう!



坂倉 孝雄 (大手前大学 経営学部 准教授)
持続可能な地域の産業とはどんなものか。
一緒に考えよう!



三浦 欽也 (神戸女学院大学 人間科学部 教授)
AI は人間を超えて賢くなるのでしょうか。
共に考えてみましょう。



原 哲也 (関西学院大学 建築学部 教授)
デジタルと建築、その相性について考え
てみよう。



藤本 幹也 (大手前短期大学 教授)
ユニバーサルデザインの現状や、課題に
ついて、受講生の皆様と有益な情報を共有
できる授業にしたいと思います。



藤井 博志 (関西学院大学 人間福祉学部 教授)
暮らしの主体者としての地域住民が生活
の場を福祉的な場に創っていく自治的活
動やその考え方を学びながらDXとの関係
を考えよう。



柴田 学 (関西学院大学 人間福祉学部 准教授)
"手づくり"と"DX"を掛け合わせた地域づく
りの展開を探求したいと思います。



岩坂二規 (関西学院大学 教育学部 准教授)
今、世界をともに生きる主体としての「わ
たし」を考えましょう。